

『PCA 固定資産 hyper』

Ver.1.0 Rev.5.10 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH211215

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《新機能》

◇資産の仮登録

資産について、取得年月日などの必須項目を登録することなく仮登録をすることができるようになりました。

◇コードの自動付番

資産コードを自動で付番できるようになりました。

- ・「資産」にコード付番の設定を行う「自動付番設定」処理を追加しました。
- ・以下の場合に自動的に設定可能な資産コードで登録が行われます。
 - ・資産の登録処理において、コードを未入力で登録または分割した場合。
 - ・汎用データ受入において、「コード自動付番する」で受入した場合。

《全体》

◇令和3年度税制改正対応

- ・別表16関連の様式変更に対応しました。
 - ・第二十六号様式償却資産申告書について、押印欄を削除しました。
 - ・DX投資促進税制の創設に対応し、均等償却の資産に特別償却が設定できるようになりました。
 - ・別表十六(六)の新様式に対応しました。
 - ・PCA法人税にエクスポートについて、税制改正後の別表十六(六)に対応しました。
- ※事業期間終了日が令和3年8月2日(税制改正施行日)以降の場合、PCA法人税はRev23.03以降の場合のみエクスポート可能となります

◇令和3年度地方税電子申告対応

eLTaxの更改(令和3年度)に対応しました。

《前準備》

◇会社基本情報の登録

決算確定済の過年度を誤って操作しないように、すべての資産を変更不可にできるようになりました。

《資産》

◇資産の登録

資産除去債務に履行までの期間を設定できるようになりました。

《台帳・一覧》

◇固定資産管理台帳

参考を表示できるようになりました。

《随時》

◇汎用データの受入

資産の新規受入時、「償却資産税 資産コード」の初期値として資産コードをコピーするようにしました。

※会社基本情報「償却資産税」タブ - 「資産コード連動」が「前詰めでコピーする」「後詰めでコピーする」のいずれかの場合のみ。

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「4.80」に更新しました。

下記のデータを追加しました。

- ・自動付番コード
- ・資産自動付番設定エントリ

下記のデータ構造を拡張しました。

- ・会社基本情報
- ・条件指示パターン
- ・資産(資産除去債務)
- ・資産(ヘッダ)
- ・資産(固定)
- ・資産(リース)
- ・資産(異動履歴)
- ・汎用データ項目
- ・汎用データパターン

◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- ・会社基本情報(バージョン「103」)
- ・資産(バージョン「106」)

APIで操作できるデータに、以下を追加しました。

- ・資産自動付番設定(バージョン「1」)

◇汎用データの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- ・会社基本情報(バージョン「9」)
- ・一般資産(バージョン「10」)
- ・一般資産(異動履歴)(バージョン「5」)
- ・リース資産(バージョン「10」)
- ・リース資産(異動履歴)(バージョン「5」)
- ・一括償却資産(バージョン「6」)
- ・少額資産(バージョン「7」)